

知的財産の意義

基本特許の重要性

特許以外の要素の重要性

- 製薬・バイオ
- 新素材

- エレクトロニクス・機械
- IT

- インターネットビジネス・ソフトウェア

一製品少数特許：
基本特許の保有によってコア領域を保護することが重要。

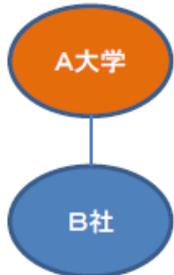
一製品多数特許：
特許ポートフォリオの構築、ライセンス、標準化等の知財活用戦略が重要。

特許以外：
著作権や種々ビジネスモデル等の特許以外の要因も重要。

コンソーシアムの形態（フォアグランド・バックブランドIPの活用）

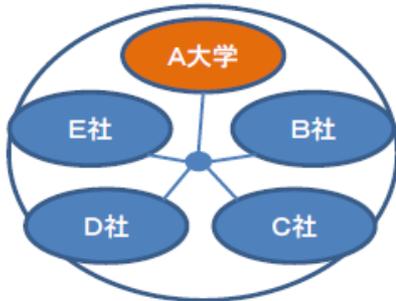
・個別共同研究のタイプ

1対1での個別共同研究を行うパターン。



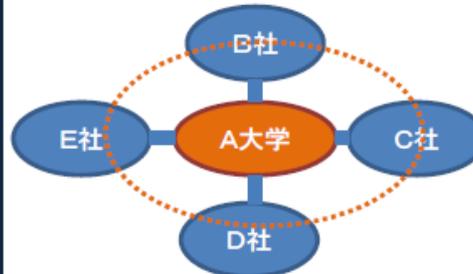
・フォーメーション形成タイプ（種々の国プロ）

ひとつのルール・規程等の下で各者が合意し、契約を締結するパターン。一体的チームを形成したフォーメーションを構築。



・個別共同研究の集積タイプ

中核機関が、個別機関と個別共同研究契約を締結するパターン。



・会費制タイプ

会費制の仕組み等により、産業界が期待する研究テーマを設定し、大学等が中心となって研究を実施するような契約を締結するパターン。

